

令和5年度 館林市 健康診査・がん検診のご案内

必ずご確認ください

●健康診査受診シールに名前が印字されている 検診を受けることができます

同封の健康診査受診シールをご確認ください

大腸がん検診			
タテバヤシ 館林	ハナコ 花子	女	S58.4.2
		年度年齢	40
館林市仲町 14 番 1 号		1234567890	
電話番号	本人負担額 500 円	領収	大腸がん

●集団検診時の持ち物

国保特定健診 ①受診券 ②国民健康保険被保険者証

がん検診等 ①検診通知一式（健康診査受診シール、生活習慣病予防健診または胸部検診受診票）
②自己負担金

●胃がん（バリウム）・乳がん・子宮頸がん検診（集団検診）は事前予約が必要

- ・予約方法はチラシ P2 をご確認ください
- ・受診票を事前に保健センターで配布します（来所できないかたは当日、会場で配布します）
配布日：令和5年6月5日（月）から（土日祝日を除く、午前9時から午後5時まで）
- ・その他の集団検診は予約不要です。検診会場に直接お越しください

●生活習慣病予防健診・特定健診（集団検診）の採尿容器を事前配布

- ・配布場所：保健センター又は市役所保険年金課
- ・配布日：令和5年6月5日（月）から（土日祝日を除く、午前9時から午後5時まで）
※検診会場トイレの混雑回避のため、ご協力をお願いいたします



●大腸がん検診（集団検診）の採便容器を事前配布

- ・配布場所：保健センター
- ・持ち物：健康診査受診シール
- ・配布日：令和5年6月5日（月）から（土日祝日を除く、午前9時から午後5時まで）

●胃がん検診（内視鏡検査）を希望のかたは、来所での事前受付が必要です（P6参照）

- ・受付日：令和5年6月1日（木）から（土日祝日を除く、午前9時から午後5時まで）
- ・持ち物：健康診査受診シール、お薬手帳（お持ちのかた）

●検診会場の駐車場について

- ・各会場ともに駐車場が混雑する可能性があります。自転車等での来所にご協力をお願いいたします



目次

P2

集団検診日程
予約方法

P3

個別検診日程
医療機関一覧

P4

検診の受け方

P4

健康診査

P5~P7

がん検診等

P7

歯周病検診

P8

検診結果および
受診後について

自己負担金の免除について【該当となるかた：市民税非課税世帯（世帯員全員が非課税）】

事前申請により、検診費用の一部が免除されます。

- ・申請窓口：健康推進課（保健センター）
- ・申請期間：令和5年6月1日（木）～7月31日（月）（期限厳守）
※土日祝日を除く、午前9時から午後5時まで
- ・持ち物：検診通知一式、身分証明書（運転免許証やマイナンバーカードなど）
※受診予定の2週間前までに申請してください。ただし、手続き上、6月中の日程は受診できませんのでご注意ください

集団検診の日程

胸部レントゲン(結核・肺がん)検診のみ

日程		午前(受付:9時30分～11時)	午後(受付:1時30分～3時)	6月5日(月)、10月25日(水) 保健センター会場の胸部レントゲン 検診は、リフト付き検診車(車いす での検診可)です。 車いすをご利用のかたは、事前に保 健センターまでご相談ください。
6月	5日 月	保健センター(リフト車)	保健センター(リフト車)	
	6日 火	城沼公民館	分福公民館	
	7日 水	渡瀬公民館	多々良公民館	
	8日 木	大島公民館	郷谷公民館	
	9日 金	赤羽公民館	六郷公民館	
	12日 月	三野谷公民館	西公民館	

健康診査・がん検診

※検診初日や土日の検診は混雑が見込まれます

胃がん(バリウム)・乳がん・子宮頸がん
**同封はがきで予約⇒【先着順】**
締切: 検診2週間前までに必着

- ・予約が完了した旨を伝える通知はしません。希望日が定員を超えている場合のみ、保健センターから日程変更の連絡をします
- ・はがき投函後、概ね2週間を経過しても連絡がない場合は、申込日に会場へお越しください

※胃がん(バリウム)・乳がん・子宮頸がん以外の検診は予約不要です

日程			会場	午前8時30分～午前10時30分						午前8時30分～午前10時30分 午後1時～2時		午後1時～2時	
				胃がん (バリウム)	特定 生活習慣病	前立腺がん	肝炎 ウイルス	胃がん リスク(採血)	骨粗しょう症	胸部 レントゲン	大腸がん	乳がん	
6月	26日	月	保健センター	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	29日	木	郷谷公民館	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
7月	3日	月	保健センター	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	30日	日		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
8月	24日	木	大島公民館	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	25日	金	多々良公民館	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	29日	火	渡瀬公民館	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
9月	9日	土	保健センター	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	11日	月	三野谷公民館	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	15日	金	六郷公民館	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	21日	木	赤羽公民館	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	25日	月	西公民館	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	26日	火	城沼公民館	○									

個別検診の日程・実施期間

(歯周病検診はP7をご参照ください)

令和5年6月5日(月)～10月31日(火)

- 国保特定健康診査 ● 後期高齢者健康診査
- 市が実施する特定健康診査
- 骨粗しょう症検診 ● 胃がんリスク検診
- 肝炎ウイルス検診 ● 前立腺がん検診

令和5年6月5日(月)～11月30日(木)

- 子宮頸がん検診

令和5年6月5日(月)～令和6年1月31日(水)

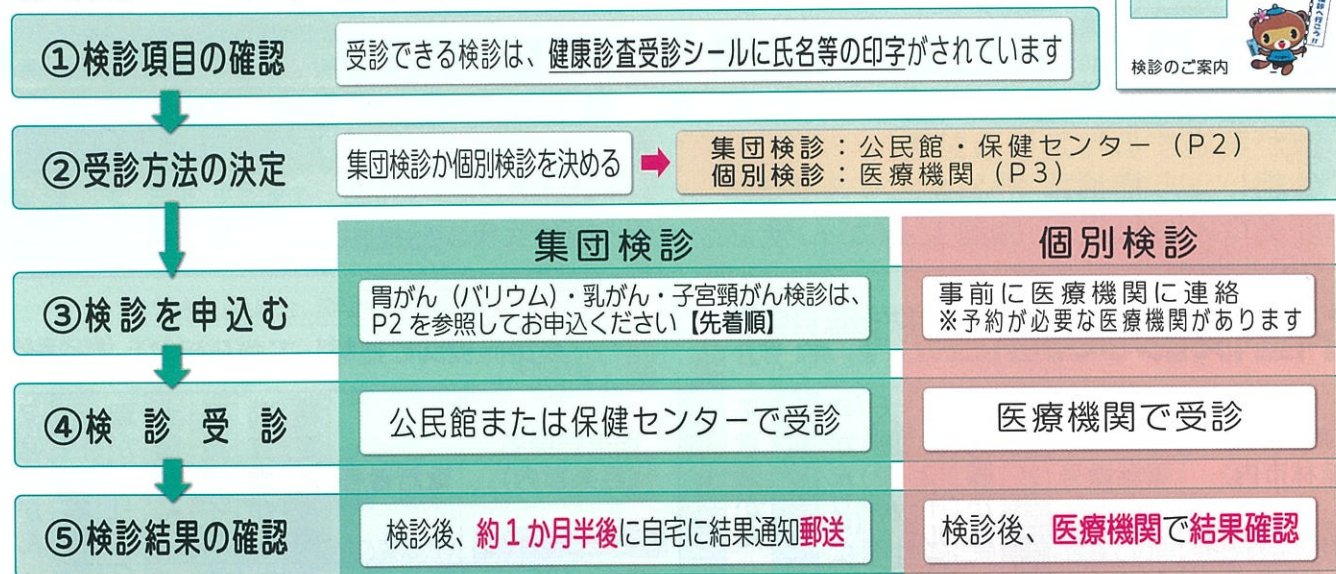
- 胃がん検診(内視鏡検査) ● 大腸がん検診

【各種検診実施医療機関】

※実施機関に連絡してから受診してください

医療機関名 (館林市内)	電話番号	特定 ／ 後期	前 立 腺 がん	肝 炎 ウ ィ ル ス	大 腸 がん	胃 がん リ ス ク	胃 内 視 鏡 検 査	子 宮 頸 がん	骨 粗 し ょう 症	医療機関名 (邑楽郡内)	電話番号	特定 ／ 後期	前 立 腺 がん	肝 炎 ウ ィ ル ス	大 腸 がん	胃 がん リ ス ク	胃 内 視 鏡 検 査	子 宮 頸 がん	骨 粗 し ょう 症
◎は事前予約が必要										◎は事前予約が必要									
うえの医院	72-3330	○	○	○	○	○			○	いたくら内科クリニック	70-4080	○	○	○	○				
宇沢整形外科	74-8761	○	○	○	○	○			○	井上整形外科医院	82-1131	○	○	○	○				○
岡田整形外科クリニック	72-3163	○	○	○	○				◎	ふじの木整形・内科クリニック	91-4070	○	○	○	○	○			○
小曽根整形外科	72-7707	○	○	○	○	○			○	竹越医院	84-3137	○	○	○	○	○			
神尾内科医院	75-1288	○	○	○	○	○				福田ペインクリニック	84-1233	○	○	○	○	○			○
川島脳神経外科医院	75-5511	○	○	○	○	○			○	明和セントラル病院	84-1234	◎	○	○	○	○	○		
県西在宅クリニック館林	55-3818	○								小西医院	86-2261	○	○	○	○	○		○	
公立館林厚生病院	72-3140						○	○		千代田医院	86-6080	○	○	○	○				
ごが内科楢クリニック	73-7587	○	○	○	○					阿部医院	62-5428	○	○	○	○		○		
後藤内科医院	72-0134	○	○	○	○	○				新井内科クリニック	20-1220	○	○	○	○	○	○		
さくま内科胃腸科クリニック	55-2500	○	○	○	○	○				須田内科医院	63-1414	○							
さくらクリニック	72-3855	○	○	○	○	○			○	高木整形外科									

検診の受け方



健康診査

※加入している健康保険により健診が異なります

健康保険の種類	館林市国民健康保険 (40～74 歳)	後期高齢者医療 (75 歳以上)	生活保護受給者等 (40 歳以上)
受診できる健診	国保特定健診	後期高齢者健診	市が実施する特定健診
検 査 内 容	問診・身体計測・診察・血圧測定・尿検査・血液検査（脂質・肝機能・血糖・腎機能） ※このほか、前年度の健診結果が国の定める要件に該当し、医師が必要と判断した場合は、心電図・眼底・貧血検査をすることがあります		
健 診 目 的	メタボリック症候群の予防、心臓病や糖尿病の重症化予防	心臓病や糖尿病の重症化予防、介護予防	メタボリック症候群の予防、心臓病や糖尿病の重症化予防、介護予防
費 用	無 料		
実 施 会 場	○公民館・保健センター（午前のみ）P2 参照 ●医療機関 P3 参照	●医療機関 P3 参照	○公民館・保健センター（午前のみ）P2 参照 ●医療機関 P3 参照
持 ち 物	受診券 国民健康保険被保険者証	受診券 後期高齢者医療被保険者証	健康診査受診シール 受診票
注 意 事 項	≪次のかたは、健診を受診できません≫ ・短期人間ドック助成の申請をしたかた ・（国保特定健診）受診日時点で国民健康保険に加入していないかた ・（後期高齢者健診）受診日時点で後期高齢者医療制度に加入していないかた ※上記に該当するかたが受診された場合は、健診費用は全額自己負担となります（後日、健診費用の支払いが必要となります）		
	検査当日は、飲食（水以外）禁止です		

【上記以外の健康保険（社会保険等）に加入している 40 歳以上のかた】

加入者本人：職場や保険証発行先で実施する特定健診をお受けください

被扶養者：市の集団検診会場で受診できる場合があります。保険証発行先からの通知を確認してください

がん検診等

※令和6年3月31日現在の年齢で表示しています

対象年齢(年度年齢※)		19歳	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳以上	自己負担金	受診方法
①生活習慣病予防健診		19～39歳								500円	集団
②胸部(結核・肺がん)検診	胸部レントゲン検査	40歳以上								無料	集団
	喀痰(たん)検査	50歳以上(喫煙指数が600以上のかた)								500円	集団
③大腸がん検診		40歳以上								500円	集団・個別
④胃がん検診	バリウム検査	40歳以上(前年度に胃内視鏡検査を受診していないかた)								500円	集団
	内視鏡検査	50歳以上(前年度に胃内視鏡検査を受診していないかた)								2,000円	個別
⑤子宮頸がん検診		20歳以上の女性								500円	集団・個別
⑥乳がん検診		40歳以上の女性(前年度未受診のかた)								500円	集団
⑦骨粗しょう症検診		20・25・30・35・40・45・50・55・60・65・70歳の女性								500円	集団・個別
⑧胃がんリスク検診		30・35・40・45・50・55・60・65・70歳の未受診のかた								500円	集団・個別
⑨肝炎ウイルス検診		40～74歳の未受診のかた								500円	集団・個別
⑩前立腺がん検診		50歳以上の男性								500円	集団・個別
⑪歯周病検診		30・35・40・45・50・55・60・65・70歳のかた								500円	個別

①生活習慣病予防健康診査 (19～39歳)

集団検診のみ

若い時から、生活習慣病予防に心がけていただくための健診です。学校や職場等で受診できないかたは、ぜひお受けください。

【検査内容】

問診・身体計測・診察・血圧測定・尿検査
血液検査(脂質・肝機能・血糖・貧血)
※このほか、医師の判断により、心電図・眼底・クレアチニン検査を実施する場合があります

【実施会場】

公民館・保健センター(午前のみ) P2 参照

【自己負担金】 500円

【注意事項】

検査当日は、飲食(水以外)禁止です

④胃がん検診

バリウム検査：40歳以上（前年度、内視鏡検査未受診のかた）
内視鏡検査：50歳以上（前年度、内視鏡検査未受診のかた）

胃がんの死亡数は、男性の3位、女性の5位であり、早期発見が大切です。ピロリ菌の持続感染と喫煙、食生活などの生活習慣が、胃がんの発生リスクを高めます。

バリウム検査（40歳以上、前年度内視鏡検査未受診）

【検査内容】問診、胃バリウム検査

【実施会場】

公民館・保健センター（午前のみ）P2 参照

【自己負担金】500円

【申込方法】同封はがき等で申込み

【注意事項】

- ・検査前日の午後9時以降は禁食（あめ、たばこ、ガムも禁止）
- ・血圧や心臓病等、朝の内服が必要なかたは、検診2時間前までに水で服用してください。糖尿病の薬は、低血糖の危険があるため、飲まずに検診をお受けください（主治医に確認）
- ・服装は、Tシャツ、スボン（ウエストがゴムのもの）が最適です

＜次のかたは、検診を受診できません＞

- ・当日飲食をした
- ・妊娠中または妊娠の可能性がある
- ・身体が不自由で、指示どおりに寝返りができない
- ・体重が130kg以上ある
- ・血圧が180/110mmHg以上ある
- ・過去、バリウム検査でアレルギー症状が出た
- ・前回の検査で、便秘や体調が悪くなって医療機関を受診した
- ・慢性呼吸器疾患等で酸素吸入の治療中
- ・心臓病、腎臓病、人工透析等で水分制限中
- ・3か月以内に内視鏡での大腸ポリープの治療をした
- ・バリウムが気管支に入ったことがある（誤嚥）
- ・大腸憩室炎、潰瘍性大腸炎、クローン病と診断された
- ・手術による治療をしていない腸ヘルニアの既往がある
- ・腹痛や血便等の症状がある
- ・3日以上排便がない（検査当日も含む）
- ・当日インスリン注射や血糖降下剤を服用した
- ・インスリンポンプ、持続グルコース測定器を装着中で、検診時に自分で取り外しができない

＜次のかたは、主治医の許可があれば受診できます＞

- ・1年以内に心臓病、脳血管疾患で手術を受けた（コイル留置、ステント挿入を含む）
- ・胃や腸の開腹手術または腸閉塞手術後、初めて検査を受ける
- ・現在、胃、小腸、大腸の病気で治療中（経過観察を含む）
- ・6か月以内に肝臓、胆のう、すい臓、婦人科等の手術をした（腹腔鏡による手術も含む）
- ・慢性閉塞性肺疾患（COPD）で治療中
- ・胸部および腹部大動脈瘤の既往がある

内視鏡検査（50歳以上、前年度内視鏡検査未受診）

【検査内容】問診、胃内視鏡検査

【実施会場】医療機関 P3 参照

【自己負担金】2,000円

【申込方法】保健センター窓口で申込み

内視鏡検査受付：6月1日（木）～

（受付は、土日祝日を除く、午前9時から午後5時まで）

＜持ち物＞健康診査受診シール・お薬手帳（お持ちのかた）

※内視鏡検査を受診した翌年は、胃がん検診（内視鏡・バリウム）を受診できません

＜次のかたは、検診を受診できません＞

- ・抗血栓薬（血液をサラサラにする薬）を服用中
 - ・消化性潰瘍などの胃疾患（ピロリ菌除菌を含む）で治療中
 - ・胃全摘術後のかた
 - ・検診時に鎮静薬の使用を希望する
- ※その他、申込時に確認書で該当になるかを確認します

⑤子宮頸がん検診 （20歳以上の女性）

集団検診
個別検診

子宮頸がんの発病は、20～30歳代の若い女性に増えています。検診により、がんになる前の「前がん病変」やごく初期のがんを発見することができます。

【検査内容】問診、視診、子宮頸部の

⑦骨粗しょう症検診 (20～70歳の節目年齢の女性)

集団検診
個別検診

閉経後は、骨量が急激に減少するため、骨粗しょう症は50歳以上の女性に多い病気です。また、ダイエット等による若い女性の骨量不足も増えています。骨粗しょう症は自覚症状がないため、自分の骨の状態を知るために、この機会にお受けください。

【検査内容】問診、骨密度測定

集団検診：超音波検査（踵で測定）

個別検診：レントゲン撮影（腰・上腕）

【実施会場】公民館・保健センター P2 参照

医療機関 P3 参照

【自己負担金】500円

【注意事項】

妊娠中のかたは、超音波検査（集団検診）であれば受診できます

⑧胃がんリスク検診 (30～70歳の節目年齢の未受診者)

集団検診
個別検診

胃がんリスク検診は、ピロリ菌感染の状況や胃粘膜の萎縮度から、今後、胃がんになりやすい「リスク」を持っているかを調べるものです。

【検査内容】問診、血液検査（ピロリ菌・ペプシノゲン検査）

【実施会場】公民館・保健センター P2 参照

医療機関 P3 参照

【自己負担金】500円

【注意事項】

過去に同検査を受診したかたは、受診できません

※次のかたは、正しい検査結果が得られない可能性があります

- ・食道、胃・十二指腸で治療中
- ・2か月以内に、胃酸を抑える薬を服用している
- ・胃がんの既往や胃を切除している
- ・ピロリ菌の除菌治療を受けた
- ・腎不全のかた

⑨肝炎ウイルス検診 (40～74歳の未受診者)

集団検診
個別検診

B型・C型肝炎は、血液を介して感染し、自覚症状がないまま慢性化して肝硬変や肝がんに進む場合があります。ウイルスに感染しているかどうかは検診を受けないと分かりません。過去に一度も受診していないかたはこの機会にお受けください。

【検査内容】問診、血液検査（B型肝炎ウイルス抗原検査・C型肝炎ウイルス抗体検査）

【実施会場】公民館・保健センター P2 参照

医療機関 P3 参照

【自己負担金】500円

【注意事項】

過去に同検査を受診したかたは、受診できません

〈無料検診のご案内〉

40・45・50・55・60・65・70歳で、この検査を一度も受けたことがないかたは、無料で検査ができますので、この機会にお受けください。

⑩前立腺がん検診 (50歳以上の男性)

集団検診
個別検診

前立腺がんの罹患率は、50歳を過ぎると増加します。

【検査内容】問診、血液検査（PSA検査）

【実施会場】公民館・保健センター P2 参照

医療機関 P3 参照

【自己負担金】500円

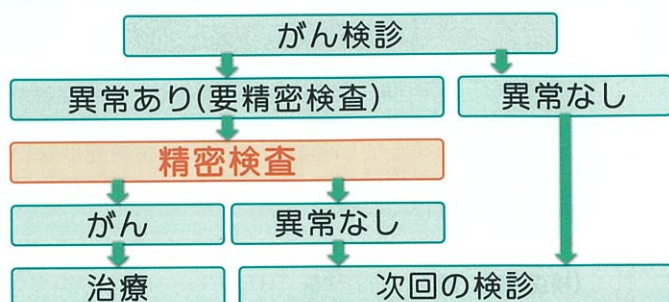
【注意事項】過去の検診で精密検査を受診し、現在治療中のかたは受診できません

⑪歯周病検診 (30～70歳の節目の年齢)



受診後が大切！ 検診結果を活用しましょう

がん検診の流れ



「受けていれば・・・」と後悔しないために、
定期的にがん検診を受けましょう！

「要精密検査」と言われたら・・・

病気の早期発見のチャンスです。病気を早期に発見し対処できれば、治療によるからだへの負担や治療に要する時間、費用も少なくて済みます。必ず精密検査を受けましょう。

がん検診のメリット・デメリット

がん検診には、メリットだけでなく、デメリットもあります。それらを理解したうえで、**がんから命を守るために、がん検診を受診することが大切です。**

メリット (利益)

- がんの早期発見、早期治療を行うことでがんによる死亡を防ぎます
- がんを早期に発見できるため軽度の治療で済みます
- がん検診で「異常なし」と判定された場合、安心感が得られます

デメリット (不利益)

- がん検診の判定・診断が100%正しいわけではありません。がんがあっても見つからない場合もあります
- 命に影響しないがんを見つけ、結果として、不必要な検査を受ける場合があります
- 検査に伴い、偶発症（放射線被ばくや出血等）が起こる場合があります
- 検査結果が出るまで、精神的負担がかかります

特定保健指導はあなたに寄り添った制度です

特定保健指導とは？

メタボリックシンドローム（メタボ）の予防・改善のためのアドバイスや支援のこと

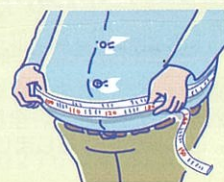
- 専門家と相談し、あなたに合った食事や運動の目標を設定
- 専門家からのサポートを受け、ご自身で目標に向けて取り組む
- 参加費は**無料**！

こんなあなたに！

- ・リバウンドせずに痩せたい！
- ・外食やコンビニでの選び方を知りたい
- ・飲み会の時はどうすればいい？

対象者は？

- ①**腹囲**：男性 85 cm・女性 90 cm以上または **BMI**：25 以上
- ②**血糖**：空腹時 100 mg/dl 以上または HbA1c 5.6% 以上
- ③**脂質**：中性脂肪 150 mg/dl 以上または HDL コレステロール 40 mg/dl 未満
- ④**血圧**：収縮期 130mmHg または拡張期 85mmHg 以上
- ⑤**喫煙歴**がある



後日、案内通知を送付します

①に該当し、かつ②～⑤のリスク要因があるかた

健診結果が要医療のときは早めの受診を

日本人の死因の多くは、心臓病や脳卒中など、生活習慣病が進行して引き起こされるものです。特定健診で生活習慣病を早期に発見し、生活習慣の改善と必要な治療を受けることで、生活習慣病の重症化を防ぐことができます。

健診は受けるだけでは意味がなく、受けた後の行動が重要です！

あなたの未来の健康を守るため、必ず医療機関を受診しましょう。

【個人情報保護について】 健康診査・がん検診結果の情報は、市で保管し、保健指導に活用します。情報の取り扱いや管理は、個人情報保護の観点から適切な対応を行います。ご了承のうえ、受診してください。